

【セッション2】

日 時	2021 年 12 月 8 日（水）10：00 ～ 11：30
タイトル	各国の気候変動緩和に関する法政策について
企画責任者	大塚直（早稲田大学）・奥真美（東京都立大学）
趣 旨	2020年10月、菅総理は、所信表明演説において、わが国が2050年までにカーボンニュートラルにすることを目指すことを宣言し、また、2021年4月、2030年度までに（2013年度比で）46%削減することを宣言した。諸外国においても、120か国以上の国々と地域が2050年目標として同じ目標を打ち出しており、中国も2060年に実質的にGHGの排出をゼロとすることを表明した。国際的には、2016年11月のパリ協定の発効等が重要である。こうした中、諸外国の気候変動緩和の法政策を参考にし、わが国の法政策を推進する必要性が高まっている。本企画はその一端を示すものである。
内容（予定）	1. 大塚直（早稲田大学教授） 企画の趣旨 2. 奥田進一（拓殖大学教授） 中国の気候変動緩和に関する法政策 3. 奥真美（東京都立大学教授） イギリス及びEUにおける気候変動緩和に関する法政策 4. 勢一智子（西南学院大学教授） ドイツにおける気候変動緩和に関する法政策 5. 石野耕哉（中央大学教授） アメリカにおける気候変動緩和に関する法政策 6. 大塚直 日本における気候変動緩和に関する法政策